2026年10月12日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
9,448万kW
17時30分、94,484 MW（10エリア同時刻合計）

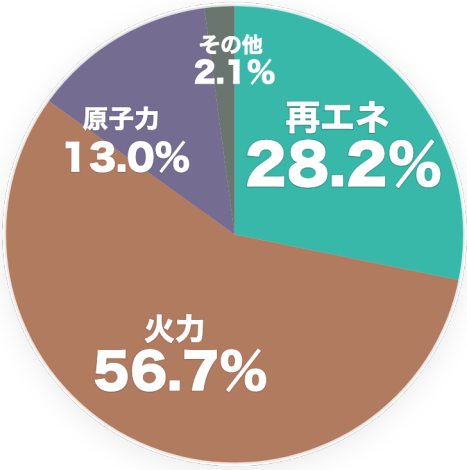
☀ 太陽光ピーク
4,812万kW
11時、48,116 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
65万kW
21時30分、646 MW

◇ 再エネ最大需要比
61.0%
11時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
74.5 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
61.2 GWh



概況

再エネ比率トップ

九州 35.4%

79.0 GWh

出力抑制量

3.4 GWh

最大: 中国 1.9 GWh

揚水・蓄電の充電

54.0 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、17:30に2,967万kWでした。
- 再エネ比率は九州が最も高く、発電電力量ベースで35.4%でした。
- 出力抑制は東北、中国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**28.2%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**562 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**1,993 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**61.0%**	11時
出力抑制量	**3.4 GWh**	最大: 中国
揚水・蓄電の充電	**54.0 GWh**	発電構成比には含めない

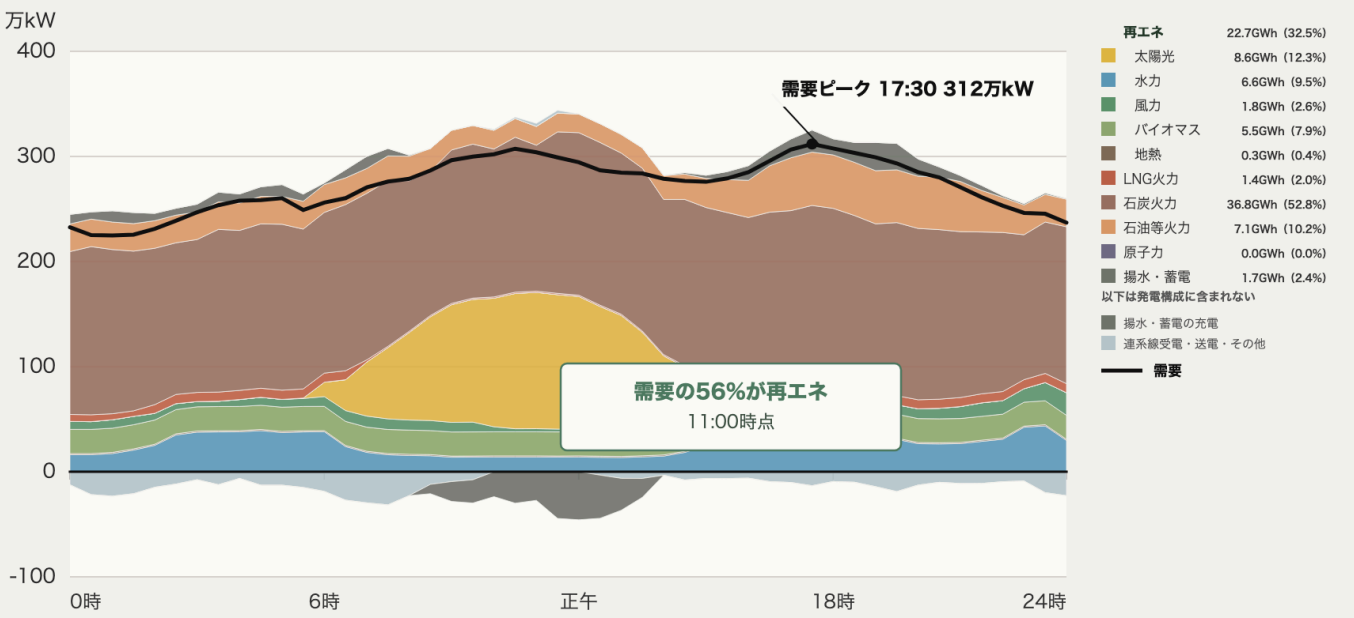
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**32.5%**	**22.7**	**0.0**	**送電 2.8**
東北	**35.0%**	**82.9**	**1.0**	**送電 61.2**
東京	**24.6%**	**138**	**0.0**	**受電 74.5**
中部	**34.4%**	**95.2**	**0.0**	**受電 42.4**
北陸	**29.6%**	**19.5**	**0.0**	**送電 9.0**
関西	**21.7%**	**60.7**	**0.0**	**受電 33.8**
中国	**22.2%**	**37.8**	**1.9**	**送電 28.0**
四国	**28.2%**	**25.0**	**0.0**	**送電 30.9**
九州	**35.4%**	**79.0**	**0.6**	**受電 0.1**
沖縄	**7.1%**	**1.7**	**0.0**	—

2026年10月12日の供給実績

北海道エリア

再エネ
22.7GWh
（発電電力量ベース32.5%）

北海道エリア 2026年10月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
69.8GWh

需要ピーク
17:30、312万kW

連系線・その他
2.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

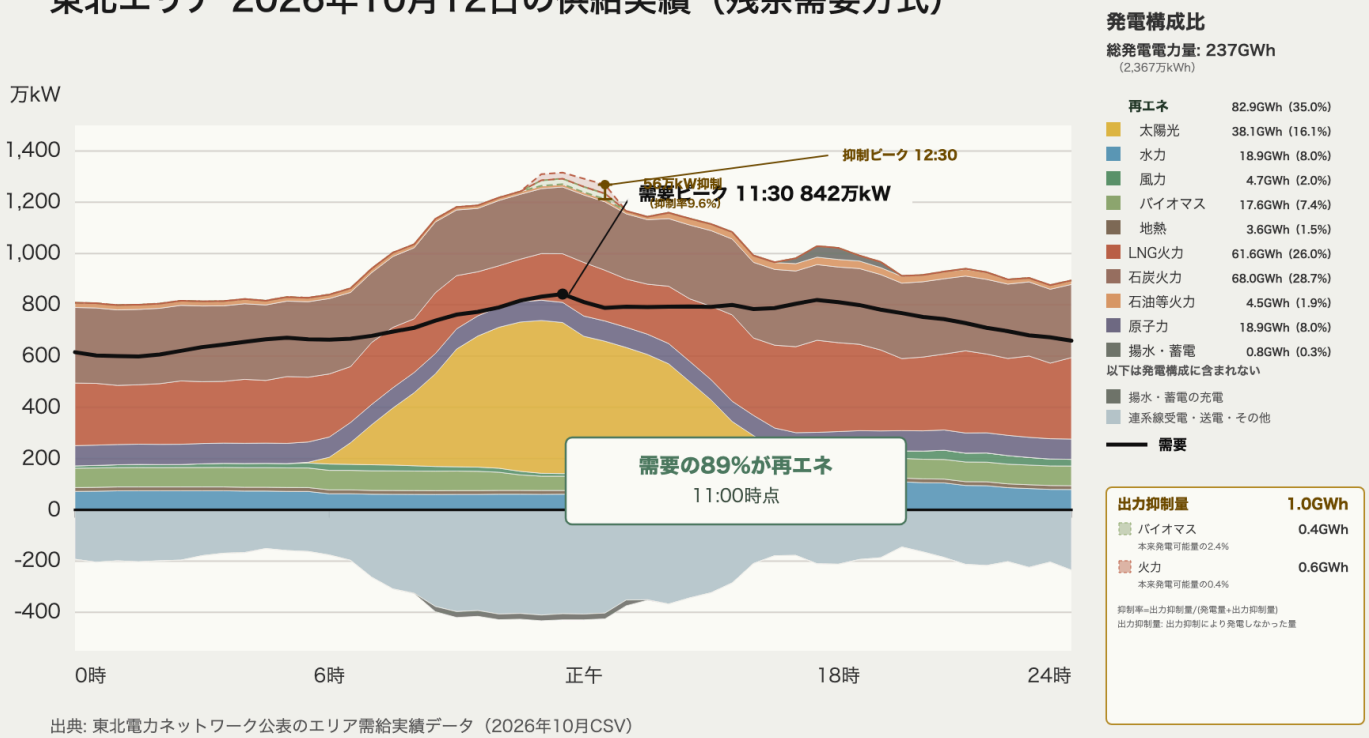
北海道は、太陽光ピーク130万kW、風力ピーク22万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.6%だった。

2026年10月12日の供給実績

東北エリア

再エネ
82.9GWh
（発電電力量ベース35.0%）

東北エリア 2026年10月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
236.7GWh

需要ピーク
11:30、842万kW

連系線・その他
61.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.1GWh

出力抑制
1.0GWh

概況

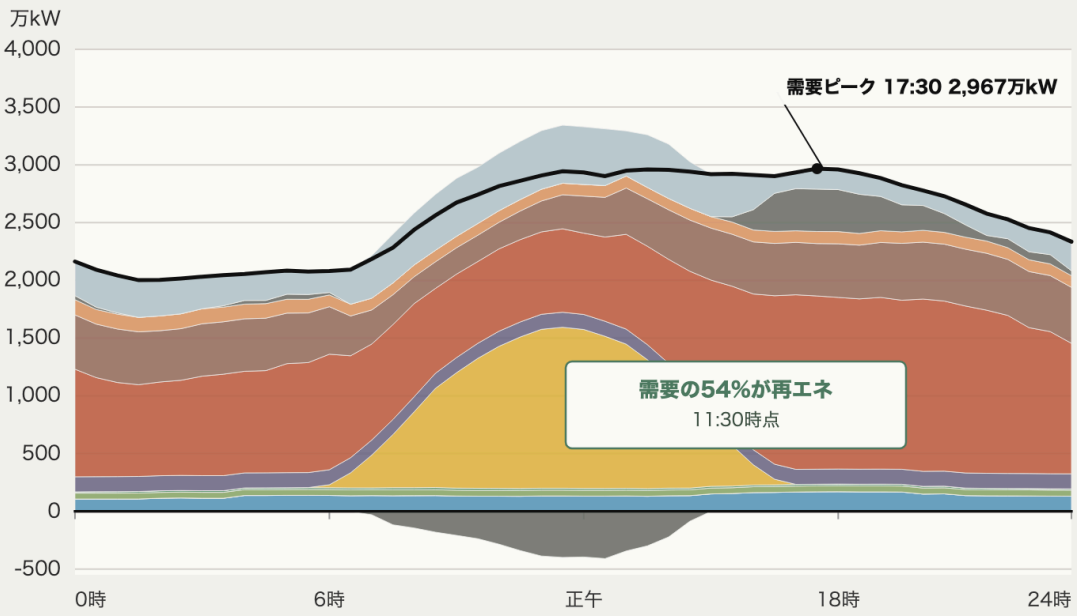
東北は、太陽光ピーク596万kW、風力ピーク36万kWで、時間別の再エネ最大需要比は90.2%だった。

2026年10月12日の供給実績

東京エリア

再エネ
137.5GWh
（発電電力量ベース24.6%）

東京エリア 2026年10月12日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比
総発電電力量: 559GWh
（5,587万kWh）

再エネ	137.5GWh (24.6%)
太陽光	88.8GWh (15.9%)
水力	32.9GWh (5.9%)
風力	3.5GWh (0.6%)
バイオマス	12.3GWh (2.2%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	248.4GWh (44.5%)
石炭火力	97.8GWh (17.5%)
石油等火力	25.9GWh (4.6%)
原子力	31.3GWh (5.6%)
揚水・蓄電	17.8GWh (3.2%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
558.7GWh

需要ピーク
17:30、2,967万kW

連系線・その他
74.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電
20.5GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

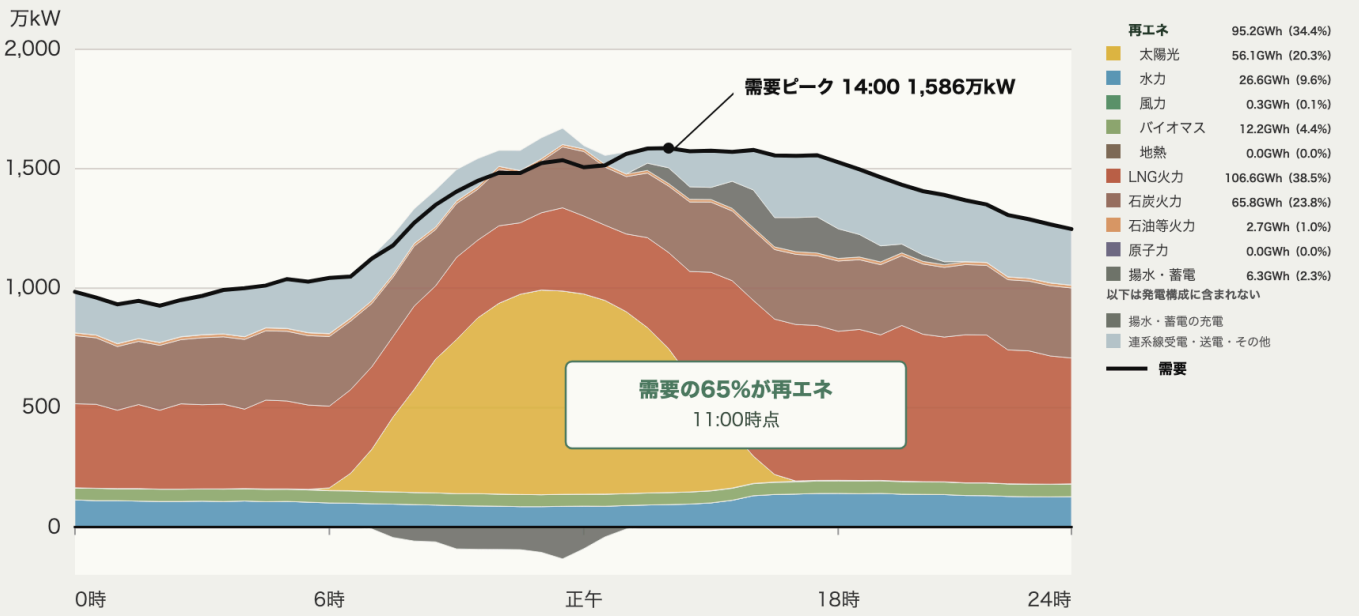
東京は、太陽光ピーク1,394万kW、風力ピーク18万kWで、時間別の再エネ最大需要比は54.2%だった。

2026年10月12日の供給実績

中部エリア

再エネ
95.2GWh
（発電電力量ベース34.4%）

中部エリア 2026年10月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
276.7GWh

需要ピーク
14:00、1,586万kW

連系線・その他
42.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電
4.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

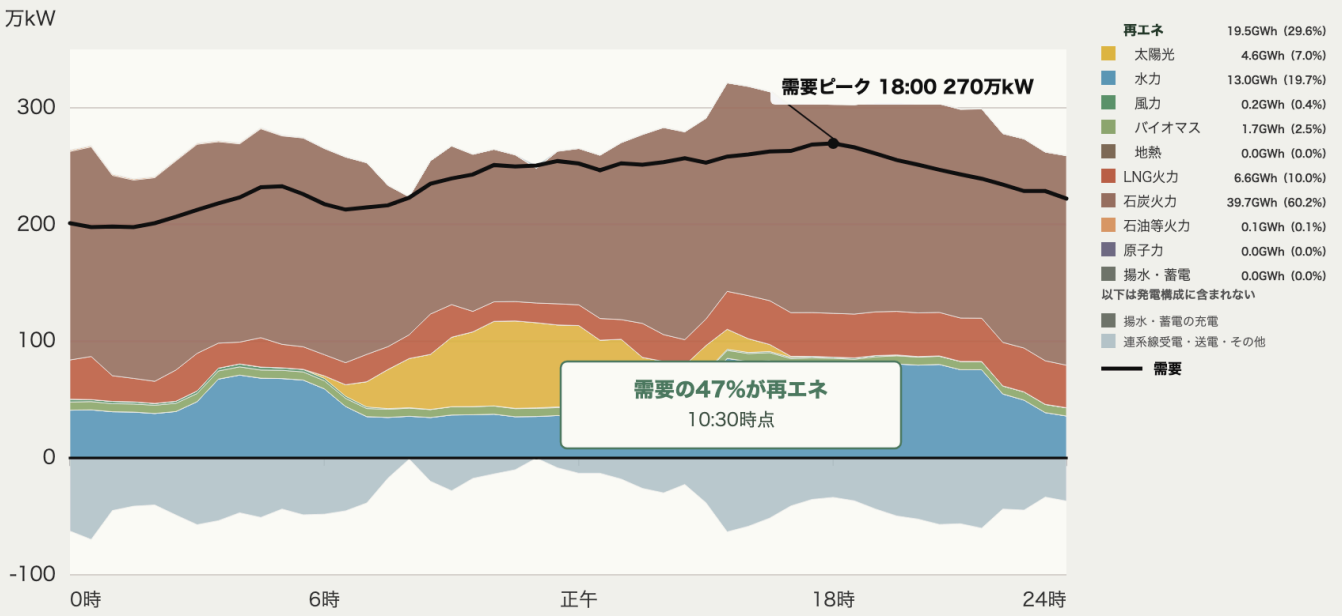
中部は、太陽光ピーク857万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.8%だった。

2026年10月12日の供給実績

北陸エリア

再エネ
19.5GWh
（発電電力量ベース29.6%）

北陸エリア 2026年10月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
65.9GWh

需要ピーク
18:00、270万kW

連系線・その他
9.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

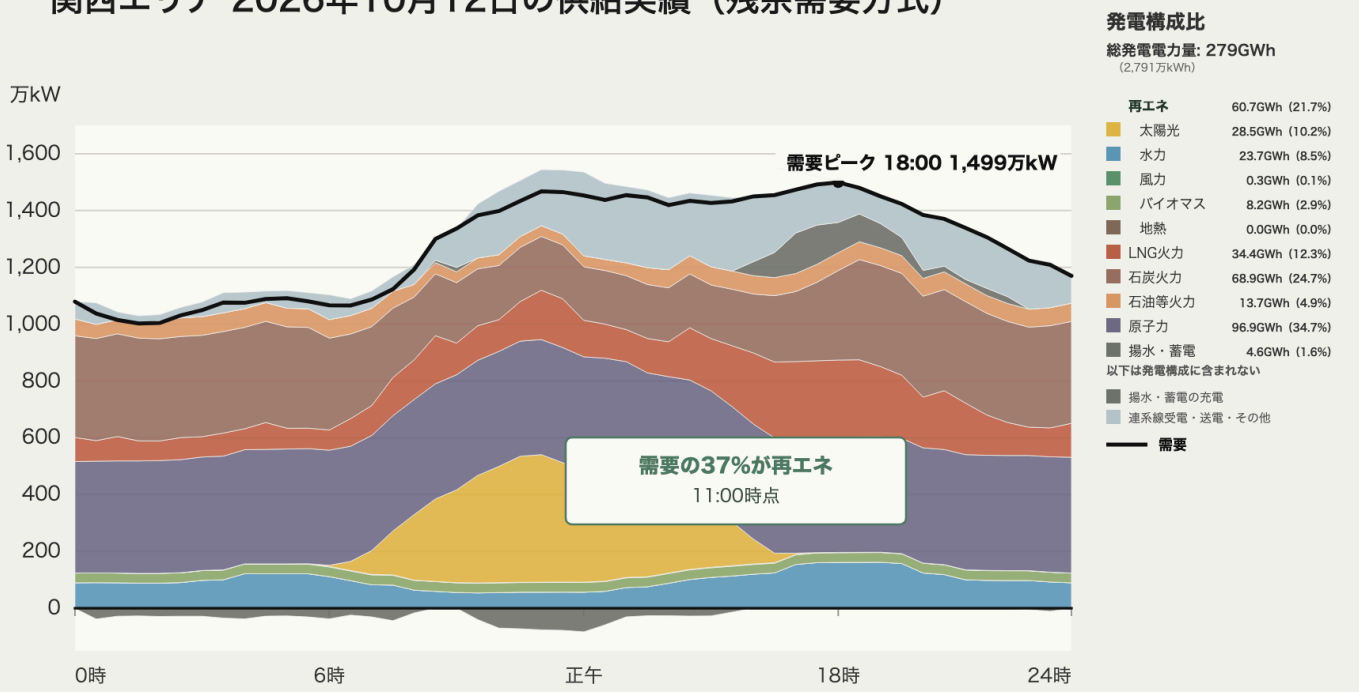
北陸は、太陽光ピーク75万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は47.0%だった。

2026年10月12日の供給実績

関西エリア

再エネ
60.7GWh
（発電電力量ベース21.7%）

関西エリア 2026年10月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
279.1GWh

需要ピーク
18:00、1,499万kW

連系線・その他
33.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
5.7GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

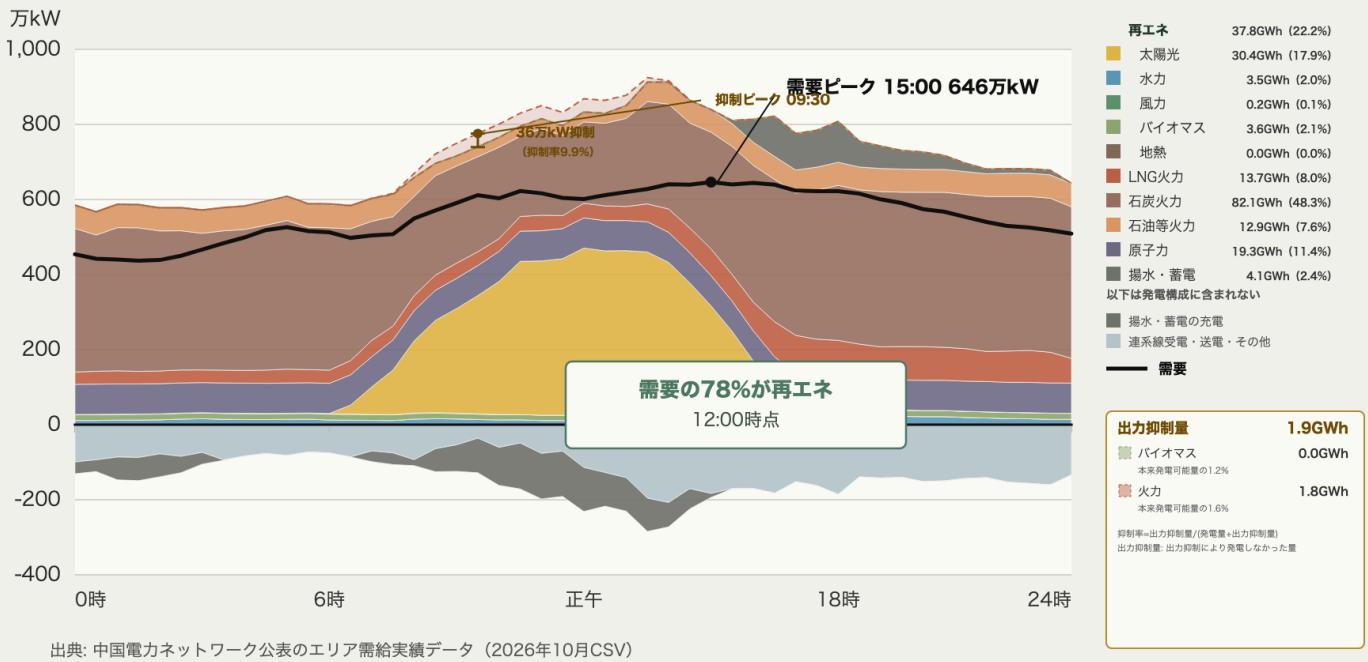
関西は、太陽光ピーク449万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.3%だった。

2026年10月12日の供給実績

中国エリア

再エネ
37.8GWh
（発電電力量ベース22.2%）

中国エリア 2026年10月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
169.8GWh

需要ピーク
15:00、646万kW

連系線・その他
28.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電
8.0GWh

出力抑制
1.9GWh

概況

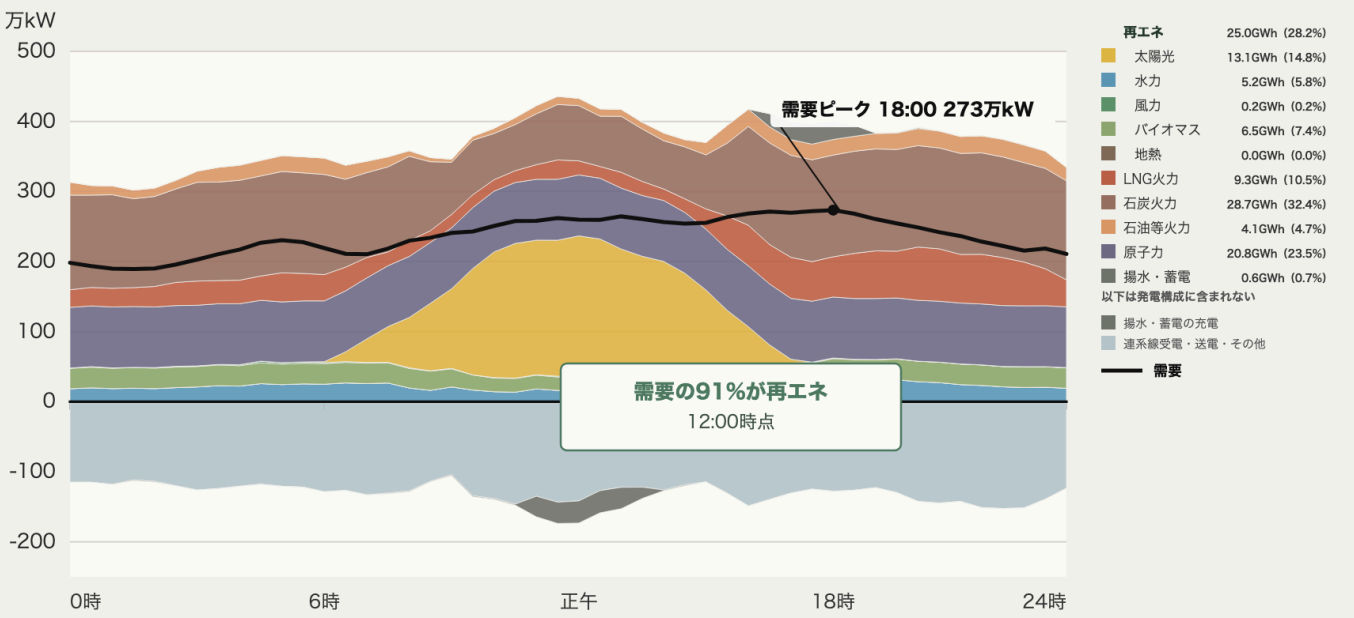
中国は、太陽光ピーク446万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は78.3%だった。

2026年10月12日の供給実績

四国エリア

再エネ
25.0GWh
（発電電力量ベース28.2%）

四国エリア 2026年10月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
88.6GWh

需要ピーク
18:00、273万kW

連系線・その他
30.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

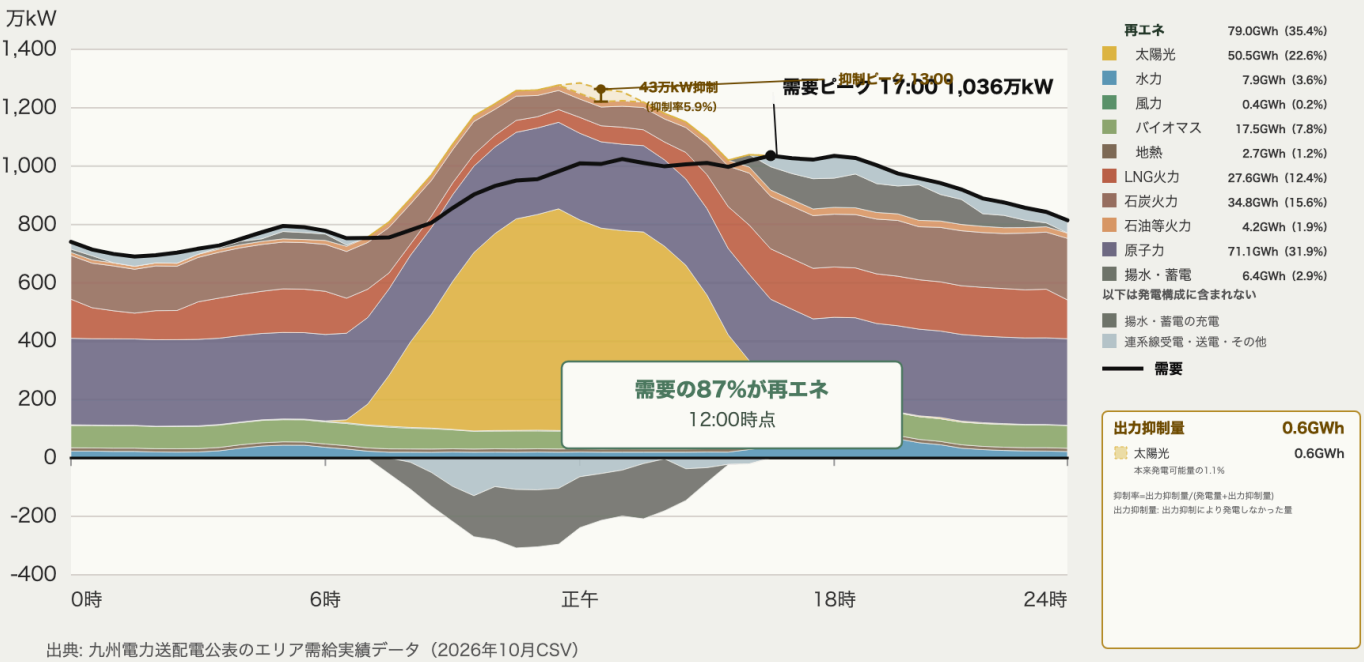
四国は、太陽光ピーク200万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は91.1%だった。

2026年10月12日の供給実績

九州エリア

再エネ
79.0GWh
（発電電力量ベース35.4%）

九州エリア 2026年10月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
223.1GWh

需要ピーク
17:00、1,036万kW

連系線・その他
5.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電
11.6GWh

出力抑制
0.6GWh

概況

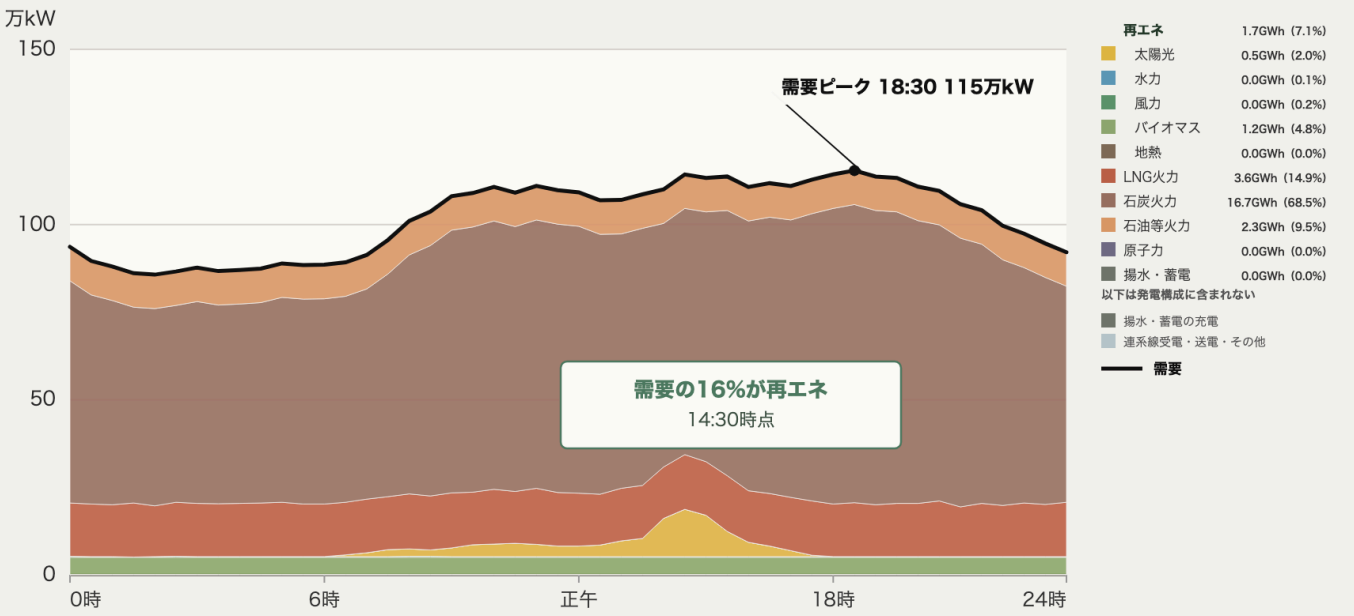
九州は、太陽光ピーク759万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は87.3%だった。

2026年10月12日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
1.7GWh
（発電電力量ベース7.1%）

沖縄エリア 2026年10月12日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
24.4GWh

需要ピーク
18:30、115万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク14万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は16.4%だった。